



海上ロッジの今後は 扇谷 照義 議員 答 改装を検討する

扇谷 能美海上ロッジの経営について、現在の施設では今後の経営は大変困難に思われます。建物

も古く耐震強度もなく、建て替えができないとのこと、現代風の建物でないとお客を集めることが



▲ 国民宿舎 能美海上ロッジ

難しいと思います。今後どのような案がありますか。たとえば改装計画は。

扇谷 食堂や料理場が大変衛生的でないと思われ、ある程度の改装をいたします。

市長 建物も古く、改装する計画を企業局企画課で検討させています。

扇谷 ロッジの職員の教育については。

企業局長 現在は、船とセットの券があります。見栄えの良いパンフレットを作ります。

企業局長 パートの職員が多く、入れ替わりが激しくあまり慣れていない。これから教育いたします。

扇谷 市営の国民宿舎、温泉に定期バスを乗り入れては。

企業局長 現在のところ計画はありません。路線バスは運輸局の認可がいりますので、難しいと思います。今後、検討いた

利用しており利便性を下げないように考える必要がある。

扇谷 食費は、16年度までは赤字でしたが現在は赤字です。燃料の高騰により今は異常事態です。船便の削減くらいではまかなえません。しかし、住民の交通手段として大切だと思っています。

企業会計特別委員会

11月16日、企業局長・同次長・ロジ支配人の出席を求め、委員会を開催した。

交通船事業
企業局長から高速艇1隻の主機エンジンの換装工事を行い経費削減に努めたこと。また燃料の高騰問題や人件費の削減策として、高速艇2チーム・フェリー2チームの交代要員の減員も含め今後とも検討していく必要があるなど説明があった。

船の今後についてはどうか。
A 原油の高騰により経営は厳しく、燃料代の削減と船員の減員しかないと思います。

交通船は、90万人が

理由は、①医師不足②産科医の激務による過重労働問題③子育てや介護などの必要がある女性医師への就労環境の整備等です。

扇谷 食費は、16年度までは赤字でしたが現在は赤字です。燃料の高騰により今は異常事態です。船便の削減くらいではまかなえません。しかし、住民の交通手段として大切だと思っています。

国民宿舎事業
ロッジ支配人から温泉管理委託会社を変更したことによる委託料の削減と能美海上ロッジ開設40周年謝恩プランを実施。その間、大人856名・子ども25名の宿泊客がありサイド温泉とあわせて

利用しており利便性を下げないように考える必要がある。

扇谷 食費は、16年度までは赤字でしたが現在は赤字です。燃料の高騰により今は異常事態です。船便の削減くらいではまかなえません。しかし、住民の交通手段として大切だと思っています。

委員会報告

文教厚生常任委員会

産科医療の集約化

12月21日、江田島市議会棟において、呉圏域の産科医療の集約化について、福祉保健部長・保健医療課長の出席を求め委員会を開催しました。

集約化についての経緯と理由は、

A 経緯は、平成19年11月末にあった、市や医師会などで構成する呉市地域医療検討専門部会と呉地域保健対策協議会は、来春から、呉市の公的3病院を2病院に集約する広島大学と県の提案を承諾した。

理由は、①医師不足②産科医の激務による過重労働問題③子育てや介護などの必要がある女性医師への就労環境の整備等です。

扇谷 食費は、16年度までは赤字でしたが現在は赤字です。燃料の高騰により今は異常事態です。船便の削減くらいではまかなえません。しかし、住民の交通手段として大切だと思っています。

今後の課題は、

A ①助産師の活動範囲拡大②女性医師が働きやすい施策の検討。育児休業制度の導入、残業(所定外労働)をさせない制度の導入等。③江田島市

に近い病院を選べないし、小児科医の不足しているのが課題。

総務常任委員会

新しいメンバー9名によって執行部から総務部長・総務課長・財政課長・企画課長の出席を求め、12月18日委員会を開催し、財政健全化法の概要と江田島の実情の説明を受けました。その概要を報告します。

標準財政規模の計算方法は、また、基準財政需要額とは基準財政収入額と普通交付税を加えたものか。
A 標準財政規模とは、標準収入額と普通交付税を加えたものです。基準財政需要額は、その通りです。
平成19年度の起債の借入と償還の差は。
A 償還のほうが、4億円から5億円多かったです。
新しいメンバー9名によって執行部から総務部長・総務課長・財政課長・企画課長の出席を求め、12月18日委員会を開催し、財政健全化法の概要と江田島の実情の説明を受けました。その概要を報告します。
A 基金を取り崩さないという予算は組めません。江中・江小を連続して建設すると基金を取り崩すようになります。有効な起債や特定財源を確保する必要があります。
A 財政の中長期計画を示す必要がある。今までの通り予算編成では組めない年が来るのでは。見直すべき所は見直してほしい。
A 平成18年度にまとめたものはありますが、現在見直し中です。
A 合併交付金と合併推進補助金はどのくらい残っているか。
A 合併推進補助金は、平成19年度末残金4千7百万円、合併交付金は、同じく2億7千万円ですが保証はされていません。
A 県からの移譲事務等が増えているが。
A 移譲事務等の中には財源が伴わないものもあり、市の負担が増すものは受けるのは難しい。

産業建設常任委員会

12月4日、委員会を開催し産業部長・土木建築部長・各担当課長の出席を求め、平成19年度主要プロジェクト事業関連分及び各事業の報告を受けた。その後、現地におもむき主要事業の進捗状況9か所を視察した。

【現地視察主要事業】
江田島地区
○市営住宅改修工事
対象・小用南1号住宅
8戸
完成予定・平成19年度
○江田島中学校新築工事
場所・江田島町小用一丁目
構造・鉄筋コンクリート造3階建
完成予定・平成20年8月
能美地区
○中田港中町地区工事
区域・中町棧橋、待合所建物、駐車場、荷揚場、緑地帯
完成予定・平成21年度
大柿地区
○八王子農道工事
区間・大柿町八王子地区
区々古地区区内
未施工区間、佐古地区(800m)
完成予定・平成21年度
沖美地区
○畑地帯総合整備事業
概要・三高ダム水源工事、貯水量55万4千トン、畑地かんがい排水事業、農道整備事業
完成予定・平成23年度
○遊休農地解消事業
区域・沖美町岡大王
内容・牛放牧事業



▲ 急傾斜地を視察（大柿町）